

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月8日

事業所名 通所支援事業所フレンドロコペリ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		HPの存在を広く伝え、確認を促す。職員間の共通認識をつくるため、評価表の結果をもとに、職員研修等を実施していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		外部評価を積極的に行っていききたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎月一回は、研修の時間を確保している	今後とも研修の機会を確保し、資質向上に努める。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	アセスメントツールを使って、話し合いながらアセスメントをしている	WISC-VIによる評価を行い、エビデンスに基づいた支援を強化していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	祝日の支援はないが、その分一日利用の際に生活支援を多く取り入れている	感染対策を行いながら、調理や買い物等の生活支援を多く取り入れていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	2	3	支援内容を考えるうえで、小グループに分けての支援を計画に盛り込んでいる	アセスメントをくりかえしながら、現状に合わせた支援内容を考える
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		モニタリング後の支援計画の変更は、職員間での周知を徹底する。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4	1		ガイドラインに関する研修	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	医療的ケア児は利用していない	医療的ケア児が利用するようになった時のために、繰り返し復習していく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	並立の児童発達支援事業所から就学することもまたは、春休みから放デイのお試し体験を実施する予定	児童の職員や他事業所から情報をもらいながら、児に合った支援を考えていく、
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	情報提供の書類をもらっている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	研修は欠かさず受けている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	コロナにより、中止や延期があった	感染対策を行いながら、社会的な関係性づくりとして交流の支援を多く取り入れていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	開催されているときは、かならず参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時に保護者の方にお会いしたら、様子を伝えるようにしている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	虹色ステップと称して、動画によって情報提供を行っている	動画視聴と同時に、日程を決めての質問会をオンラインにて行ったが、参加できない方が多かった。今後は、動画配信を続けながら、個別での面談を重視していく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	入所時に説明を行っている。また、変更があった際は、LINE等で連絡をしている	令和5年度より、放デイの支援時間に変更があるため、周知を徹底する
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	相談を受けたら、事業所での様子を伝えた後、職員で対応を話し合い、保護者の方に伝えている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	オンラインでの質問会を行った。	日程が合わず、参加人数が少ないことが課題である。継続して、保護者様同士の連携や交流の場を設ける
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	4月に職員と活動予定の紹介を行った。	毎月発行している利用申込等を活用し、情報提供を行う。

35	個人情報に十分注意している	5	0		
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1		コロナにより開催できていない。状況を見ながら、行事を考案する

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	玄関前に掲示している。また、研修での周知を行っている	職員の周知のため、職員会議等でマニュアルの内容や変更などを伝える。また、保護者の方へは、会報を利用して伝える。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	年2回火災を想定した避難訓練を行っている。また、津波・地震に関する避難も実施した	職員の訓練として、午後の準備時間を活用したシュミレーションを実施する予定。また、長期休暇には、子ども達も参加しての避難訓練を行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	主任会や全体会議で必ず虐待防止委員会の報告を行っている。	定期的な研修と、虐待防止委員会の報告を継続して行う
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	重要事項説明書に記載している	職員の周知徹底のために、身体拘束に関する研修の際に再度確認を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		保護者の方からの情報により取り組んでいるため、診断書等を提示してもらい、対応を協議する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			